

巻頭言

館長 大江千佳子

目次:

巻頭言 1

私の推薦図書
大倉 マヤ 先生 2

私の推薦図書
板倉 香子 先生 3

SDGs コーナーについて 4

4月より全面的に対面授業が開始され、学内には様々な音楽があふれ、洗足らしいキャンパスの活気が戻ってきました。このまま良い方向に向かうことを願うばかりです。

今年度の図書館のニュースです。
●SDGsコーナーを設置しました。
(2階閲覧室付近)

「SDGsを考える」というテーマで、入門書や目標4「質の高い教育をみんなにQUALITY EDUCATION」関連の書籍を集めました。「SDGsと言っても何か自分にできるのだろうか？」そんな時にご活用ください。

●デジタルコンテンツ「音楽新潮」

戦前に発行されていた音楽評論の雑誌がPDF化されたものです。当時の日本の音楽界の様子がわかる貴重な資料です。館内での閲覧利用となります。ご利用の際は図書館貸出・返却カウンターにお申し付けください。

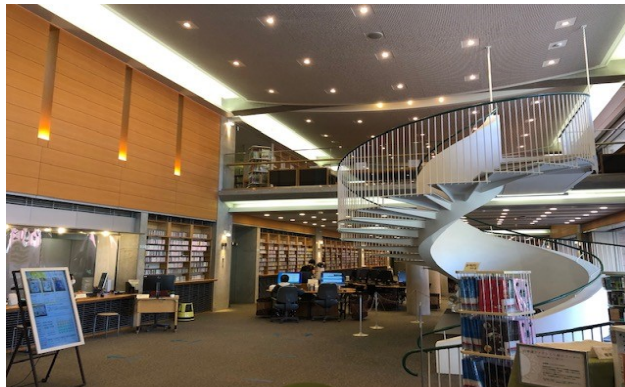
●「Henle Library」を開始しました。

ヘンレ出版の楽譜を利用できるアプリ、Henle Libraryを開始しました。楽譜閲覧だけでなくテキストの閲覧、PDFダウンロードや印刷、楽譜への書き込み、共有も可能です。今回は試験的な導入で、今年度1年間クラシック系の学部生、大学院生を対象とし、利用希望者にモニターとして利用してもらい、このアプリの活用の可能性を見極めていきたいと思っています。現在のところタブレットのみ対応となっています。

●「ナクソス・ミュージックライブラリ・ジャズ」を開始します。

ジャズコース、ロック&ポップスコースの学生さんが利用可能となります。勉強の友として思う存分使ってください！

実り多い学生生活を送ることができるよう、図書館スタッフも全力でサポートしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



<私の推薦図書>

【大倉 マヤ 先生(ミュージカルコース、音楽環境創造コース)】

書名：『戦争は女の顔をしていない』

著者名：アレクシエーヴィチ・

スヴェトラーナ

出版社：岩波書店

刊行年：2016年2月

定価：1,540円(税込)

ISBN：9784006032951

『戦争は女の顔をしていない』は、第二次世界大戦の独ソ戦に従軍した女性たちへのインタビューがまとめられたノンフィクションで、2015年にノーベル文学賞を受賞した作品です。

今回、皆さんにこの本を推薦したいと思った理由は、昨今のコロナ禍やロシアによるウクライナ侵攻という世界的な非常事態を受けて、「こんな時に音楽をやっているのだろうか？」と考えている人がいるのでは？と思ったからです。

どんな作品が気持ちを奮い立たせることができるだろうかとピックアップした中で、最終的に選んだのが、この『戦争は女の顔をしていない』です。

候補作の中では、一番ヘビーで、むしろ気持ちがより沈んでしまうかもと危惧するところもあったのですが、冒頭の執筆日誌のタイトルに

『人間は戦争よりずっと大きい』と表されているように、作者の「人間を描こう」という気概に勇気をもらえます。

読み進めるうちに、人間のあまりの愚かさをむしろ笑い飛ばしたくなります。そもそも、「こんな時」ってなんでしょう。あなたが平和で幸せな時でも、世界のどこかには苦しんでいる誰かが必ずいます。いつもどこかの誰かにとっては「こんな時」です。作者は、「女たちの戦争にはそれなりの色、臭いがあり、光があり、気持ちが入っていた。そこには英雄もなく信じがたいような手柄もない、人間を越えてしまうようなスケールの事に関わっている人々がいるだけ。」と書いていますが、私たち芸術家も、どこかの誰かの「こんな時」を無視せず、でも自分の感性を信じて、自身の感じた色や臭いや光を作品として昇華させるのが使命ではないでしょうか。

ちなみに、この本は漫画になっています。また、ロシア人の監督がウクライナ出身のプロデューサーと共同で映画化し、今年日本でも公開されます。彼らも困難の中で、生きた声を作品に昇華している同業の先輩です。ぜひ皆さんも、世界に触れて、自分の表現を模索してください。



<私の推薦図書>

【板倉 香子 先生(短期大学)】

書名：『ぼくはイエローで

ホワイトで、ちょっとブルー』

著者名：ブレイディみかこ

出版社：新潮社

刊行年：2019年6月

定価：1,485円(税込)

ISBN：9784103526810

「ぼくの手はきれいじゃない」

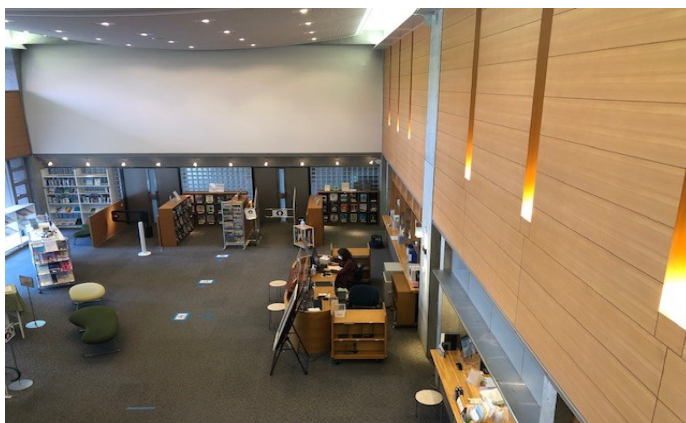
今から20年以上前、保育園で子どもたちに手話を教えるお手伝いをしたときのことです。「きれい」という手話は、手のひらを使って表現します。私が手話で「きれい」と表しながら「みんなの手もきれいだよね」と言うと、ひとりの男の子が冒頭の言葉を発したのです。彼はこう付け加えました。「だって、ぼくはみんなと色がちがうから」。その子は外国にルーツのある子どもで、周りのお友だちとは肌の色が少し違っていたのです。

本書の著者ブレイディみかこさんは、アイルランド人と結婚して英国で暮らす日本人ライターで、この本は中学生の息子さんの日常を描いたものです。「イエローでホワイト」な息子さんが、中学校生活を通して、人種差別、貧困、格差、ジェンダー、アイデンティティ、セクシュアリティなどの多様な社会的課題に直面し、悩み、考え、成長していきます。著者自身が「中学生の日常を書き綴ることが、こんなに面白くな

るとは考えたこともなかった」と書いていますが、中学生の目線から見える社会は、教科書よりも身近で現実的であり、だからこそ興味を惹かれます。

社会は「多様性の尊重」と言いながら、「自分とは異なるもの」を差別し排除しようともします。それは子どもの社会にも反映され、私が保育園で出会った男の子のように、小さな体で「みんなとちがう」ことに対峙する子どもたちもいます。そんな子どもたちに、あのときの男の子に、私たちはどんな言葉をかければよいのでしょうか。本書で「自分で誰かの靴を履いてみる」と表現された「エンパシー (empathy) : 共感」という言葉が、そのヒントを与えてくれるのではないかと思います。この本をきっかけに、みなさんにも考えてみていただけたらと思います。

なお、本書で紹介されている絵本『タンタンタンゴはパパふたり』もお勧めです。ある水族館で、2羽のオスのペンギンがカップルとなり、交代で卵をあたためて赤ちゃんペンギン「タンゴ」が誕生する実話です。こちらもぜひ一度、手に取ってみたいと思います。



【SDGsコーナーについて】

図書館2階に書籍の特集コーナーを設置いたしました。

テーマは『特集SDGsを考える』SDGs(持続可能な開発目標)の入門書と共に、目標4「質の高い教育をみんなに(QUALITY EDUCATION)」関連の本をピックアップしました。

持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)とは“2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す”という国際目標です。国連で採択された17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。

音楽分野でも様々なSDGsの取り組みが行われています。「持続可能な世界を築くためには、何をしたらいいのか」「また、自分はどのように目標達成に貢献できるか」などを考えるためのヒントとして、ぜひご活用ください。

特集 SDGs を考える

Sustainable Development Goals
エスディージーズ 持続可能な開発目標

昨今、よく耳にするようになった「SDGs」。これは、貧困や紛争、環境問題といった人類が直面する課題に対して、2030年までに世界が達成すべき目標を定めたものです。目指すのは、“誰一人取り残さない”社会。今回の特集では、SDGsそのものについて、そして4番の目標である教育について、考えるきっかけとなる本をピックアップしました。



区分	書名	著者名	資料ID	請求記号
和書	図解SDGs入門	村上芽	J100233S	【SDGs】331/Mu43/1
和書	60分でわかる! SDGs 超入門	バウンド	J100275Y	【SDGs】335.15/B28/1
和書	未来を変える目標 SDGsアイデアブック	Think the Earth	J100262U	【SDGs】333.8/Mi49/1
和書	未来をつくる道具 わたしたちのSDGs	川廷昌弘	J100256X	【SDGs】519/Ka98/1
和書	知っていますか? SDGs	日本ユニセフ協会	J100263V	【SDGs】333.8/Sh92/1
和書	2030年の世界地図 あたらしい経済とSDGs、未来への展望	落合陽一	J100234T	【SDGs】304/O15/1
和書	3つのゼロの世界——貧困0・失業0・CO2排出0の新たな経済	ムハマド ユヌス	J100235U	【SDGs】335.8/Y98/1
和書	小さな地球の大きな世界 プラネタリー・バウンダリーと持続可能な開発	武内 和彦(監修)、石井 菜穂子(監修)、谷 淳也(翻訳)、森 秀行(翻訳)	J100257Y	【SDGs】519/R57/1
和書	知る・わかる・伝えるSDGs I 貧困・食料・健康・ジェンダー・水と衛生	阿部 治(著、編集)、野田 恵(著、編集)、朝岡 幸彦(著)、浅井春夫(著)	J100261T	【SDGs】519/H61/1
和書	SDGsの基礎:なぜ、「新事業の開発」や「企業価値の向上」につながるのか?	事業構想大学院大学出版部	J100236V	【SDGs】335.15/Sc9/1
和書	未来の授業 SDGsライフキャリアBOOK	佐藤真久(著)NPO法人ETIC(編集)	J100237W	【SDGs】375/Sc9/1
和書	子どもSDGs(エスディージーズ)なぜSDGsが必要なかわかる本	バウンド(著)秋山次郎(監修)	J100238X	【SDGs】333.8/B28/1
和書	SDGs時代の教育:すべての人に質の高い学びの機会を	北村友人他	J100260S	【SDGs】371.5/Sc9/1
和書	こんな学校あったらいいな 小さな学校の大きな挑戦	辻正矩(著)、守安あゆみ(著)、中尾有里(著)、藤田美保(著)	J100239Y	【SDGs】371.5/Ko75/1
和書	子ども支援とSDGs——現場からの実証分析と提言	五石敬路	J100240Q	【SDGs】369.4/G58/1
和書	フィンランドの教育はなぜ世界一なのか	岩竹美加子	J100259-	【SDGs】372.3892/197/1
和書	オルタナティブ教育 国際比較に見る21世紀の学校づくり	永田佳之	J100264W	【SDGs】371.5/N23/1
和書	誰も置き去りにしない社会へ:貧困・格差の現場から	平松知子他	J100258Z	【SDGs】368.2/D41/1
和書	未来の学校のつくりかた:5つの教育現場を訪ねて、僕が考えたこと	税所篤快	J100241R	【SDGs】372.107/Sa22/1
和書	僕の「天職」は7000人のキャラバンになった マイクロソフトを飛び出した社会起業家の成長物語	ジョン ウッド	J100242S	【SDGs】372/W86/1

発行： 洗足学園音楽大学附属図書館
洗足こども短期大学附属図書館
発行日：2022年6月30日